

チャイルド・ファンド・ジャパンだより

[スマイルズ] 2025年2月NO.57

# SMILES

<https://www.childfund.or.jp>



特集

チャイルド・ファンド・ジャパンを支える人たち

## ボランティア・インターンの 皆さんの思い



ChildFund  
Japan

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975年より、アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動をしています。

特集

# ボランティア・インターンの皆さんの思い

チャイルド・ファンド・  
ジャパンを  
支える人たち

私たちチャイルド・ファンド・ジャパンは、社会課題の解決に向けて、ともに歩んでくださる多くの方々に支えられて活動しています。個人や企業の皆さまからのご寄付やボランティアなど、フィランソロピー（社会貢献）への関わりが広がる中、今回は、自ら進んで活動に携わってくださるボランティアとインターンの皆さんにスポットを当ててみたいと思います。

団体の活動に欠かせない存在の、ボランティアさんとインターンさん。職員だけではカバーしきれない様々な業務を担ってくれています。業務の内容に加えて、フィランソロピーへの思いもお聞きしてみました。



## 翻訳、ハガキカウント、SNS運営

### 多岐にわたるボランティア・インターンの活躍

ふだん皆さまからはなかなか見えないボランティアさん、インターンさんの存在。実は現在、ボランティアの方々約30名、インターン4名が団体の活動を支えています。

最も多いのが翻訳ボランティアの方々。スポンサーさまのお手紙を英語に翻訳したり、現地のチャイルドの手紙を日本語に翻訳したりと、チャイルド・ファンド・ジャパンの中軸であるスポンサーシップ・プログラムにとって、なくてはならない存在の方々です。また、チャイルド・ファンド・ジャパンの事務所で様々な作業を担ってくださるボランティアさんも、縁の下の力持ち。事務所に届く書き損じハガキや切手のカウント・仕分け、郵送物の発送作業などに力を発揮してくださっています。

さらに、最近のチャイルド・ファンド・ジャパンの活動を盛り上げてくれているのがインターンの存在。現在、広報2名、アドボカシー（政策提言）2名の大学生、大学院生が活躍中です。例えば、皆さまに見ていただいているSNSの投稿は、ほとんどインターンがつくってくれていますし、政策提言のための調査アンケートをインターンが作成するなど、多岐にわたって活躍してくれています。



スキルを生かして、  
デザインをしてくれるインターンも



# ボランティア・インターンさんインタビュー

## 翻訳ボランティア 鈴木さん



学校の先生をされていた鈴木さん。「途上国の子どもの教育を支援するのは教員である自分の本分にもかなう」と、スポンサーシップ・プログラムを通してご支援いただいています。また、翻訳ボランティアとしても、約10年、かかわってくださっています。

### ボランティアとしてどんなことをされていますか？

翻訳ボランティアとして、スポンサーさんの手紙を英語に翻訳したり、現地のチャイルドの手紙を翻訳したりしています。時には、英文のレポートの翻訳など、少しかしこまった文章を翻訳することもあります。



2017年のフィリピン訪問の旅にもご参加いただきました

### ボランティアを始めたきっかけを教えてください

もともとスポンサーシップ・プログラムでチャイルド・ファンド・ジャパンにかかわっていました。支援を

通して、子どもたちの学習の機会を保障してあげることができ、そして手紙やお便りで活動の様子や子どもたちの生の声が聞ける、家にいるだけでも役に立つんだという感触があり、とてもうれしく思っています。

仕事を退職後、子どもたちからの手紙の翻訳のボランティアを募集していると聞き、応募しました。退職後の趣味の一つは英語で、我流で勉強していました。専門ではないので応募には勇気がいりましたが、採用していただくことができました。

### 翻訳ボランティアをしていて嬉しかったことややりがいを教えてください

好きな英語にかかわることができて、翻訳は楽しい作業です。手紙から見えてくるのは、よく家事の手伝いをしたり、きょうだいの世話をしたりする、家族思いの子どもたちです。支援が必要な子どもたちに少しでも多くの手をさしのべられるように、多くの人にこのような活動を知ってもらいたいという思いでいっぱいです。

### チャイルド・ファンド・ジャパンに対して一言メッセージをお願いします！

対応してくれるスタッフの皆さまはいつも親切でありがたく思っています。微力ながら私のスキルが生かせるのであればこれからもお手伝いさせていただきたいと思います。

## 学習ボランティア 千葉さん



大学で国際関係や日本語教育について学んでいる千葉さん。外国ルーツの子どもの補習教室「学びのフレンドリースペース（フレस्प）」で、2023年から学習サポーターとしてかかわってくれていて、子どもたちに温かく接してくれています。

### ボランティアとしてどんなことをされていますか？

外国にルーツをもつ小中学生のサポートをしています。一緒に宿題をしたり、ワークシートで日本語の勉強をしたり。他に、季節ごとのイベントのサポート

も行っています。料理教室で、エルサルバドル料理のププサを作って食べたのはいい思い出です。

### ボランティアを始めたきっかけを教えてください

高校生の頃から海外に興味をもっていて、大学も国際関係の学部に進んだのですが、2年生のとき、将来の選択肢を広げようと思い、日本語教員養成課程を



フレस्पの生徒さんや他のボランティアさんと一緒に七並べをする千葉さん。

副専攻としてとりました。そこから日本語教育に関心が深まって、あるとき、フレस्पのコーディネーターさんがボランティアのことを紹介してくれて、「やってみたい!」と応募しました。

### ボランティアをしていて嬉しかったことややりがいを教えてください

1年前くらいからフレस्पに通っているネパールの男の子がいるのですが、はじめて来たときは目を合わせてくれなかったし、日本語もほとんど話せない状態でした。ですが、だんだんとフレस्पにも慣れてきて、今では向こうからどんどん私に話しかけてくれるようになりました。成長を感じられたことや、学んだ日本語を積極的に使おうとしてくれてい

ることがとても嬉しかったです。

### このボランティアや自分自身のキャリアなどについて、将来の展望を教えてください

大学卒業後は大学院に進もうと思っています。フレस्पは日本語教育の「実践」の場だと思っているので、大学院で学ぶ「研究」に取り組みつつ、実践と研究を両立させていきたいです。また、将来は日本語教育関連の仕事につきたいと思っていますが、先輩コーディネーターさんの教え方を見ていると、自分はまだまだだなと感じます。これからもボランティアを続けて、日本語教育の理解を深めながら、子どもたちの成長も見守っていきたいと思っています。

## 元広報インターン 垣見さん



2024年3月から半年間、関西からのリモート勤務で、広報のインターンとしてかかわってくれた垣見さん。分かりやすく親しみやすいSNSの投稿文章をつくってくれたり、いろいろな提案をしてくれたり、そして素敵な笑顔で職員を元気づけてくれたりと、多方面から活躍してくれました。

### インターンとしてどんな業務に携わりましたか？

広報のインターンとして主にSNS発信の業務に携わりました。他にも、SNSの投稿を読んでもらえるよう、担当職員の方とミーティングをしたり、プレスリリースやHPの文章作成など多岐にわたる業務に携わらせてもらいました。

### インターンを始めたきっかけを教えてください

幼少期から途上国支援のテレビやドキュメンタリーを観ていたことや、大学在学中の海外でのバックパッカー経験から、国際協力の仕事に携わりたいと考えていました。実際に働き、イメージを具



バックパッカー中、滞在先のゲストハウスで仲良くなった旅人とのショット。

体化したいと思い、インターンに応募しました。

子どもや女性を中心とした支援を行っていることや、活動内容、規模を考え、チャイルド・ファンド・ジャパンに決めました。

### 業務に携わってみて、嬉しかったことややりがいに感じたことを教えてください

現地に住んでいる方や子どもたちの様子、生活状況を学べたことがよかったです。業務の一環でSNSの文章を書いていたのですが、より多くの方に読んでいただけるよう、そして、読み手の方に現地的心声を届けられるようにということを、一番大切にしていました。

やりがいに感じたこととしては、ソフトバンクホークス・近藤健介選手の成績連動型寄付の活動にご一緒させてもらったことです。自分が野球好きだと伝えていた



SNS投稿用の画像。デザインと専用ハッシュタグは垣見さんと職員が一緒につくりました。

こともあり、担当職員の方からの提案で参加させてもらったのですが、自分の好きなコトに関わられたので、とても嬉しかったです(笑)。

## チャイルド・ファンド・ジャパンの印象など、 メッセージをお願いします！

インターン期間中は、職員の皆さんが参加される昼礼※にも参加させていただきました。毎回出される身近なトークテーマに合わせて皆さんとコミュニケーションをとることができたのもよかったです。住まいが関西のためリモートでの参加でしたが、何よりも皆さんの温かい人柄と仲の良さが伝わり、団

体としての活動はもちろん、チームとしても本当に素敵で、チャイルド・ファンド・ジャパンで働けたことは自分にとってまた一つ成長につながったと感じています！

※毎日11:45から行っている集まり。オンライン通話で全職員が集まり、日々の業務のちょっとしたことやプライベートで起こったできごとなどを話し、コミュニケーションの円滑化をはかっています。

## こんな参加の方法も！

### 学校や企業でボランティア

学校の生徒さんや企業の従業員の方が、社会貢献活動としてボランティアして下さることも増えています。また、事務所のある東京都杉並区の中学校から、職場体験として生徒さんが団体の活動の一部を担ってくれています。



### ネパール教育の課題点！

#### 1. 地方の学校環境・教え方



- 学校までの距離と道
- 校舎の設備や衛生管理が悪い
- 学用品は自己負担



ChildFund Japan

### サービスラーニング

青山学院大学のサービスラーニング(座学と奉仕活動を組み合わせた学習法)の授業を通して、学生さんがアドボカシーやイベント運営、ファンドレイジングに協力してくれています。

### プロボノ

企業の方などが、プロフェッショナルなスキルを生かして、団体の活動を支えてくださっています。例えば、団体の公式HPはGMOインターネットさまが制作してくださっています。

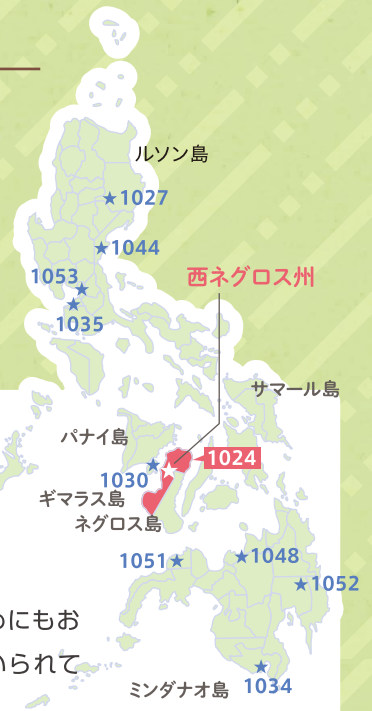


## あなたもチャイルド・ファンド・ジャパンの活動にかかわってみませんか？

チャイルド・ファンド・ジャパンでは、活動と一緒に担ってくれるボランティア、インターンを随時募集しています。HPやSNS、メールマガジンなどで募集の案内を出していますので、ご関心のある方、ぜひご覧ください！

# フィリピン

## 西ネグロス州の支援地域が 支援から自立しました！



フィリピンの支援地域の一つ、西ネグロス州。皆さまのご支援によって、様々な支援を子どもたちと家族に届けることができ、2024年5月、支援から自立することができました。これまでのご支援に心より感謝申し上げますとともに、活動の成果をご報告いたします。

西ネグロス州での支援は、1991年から開始しました。以来、スポンサーシップ・プログラムを通じて、32年間にわたり、子どもたちと地域へ支援を届けてきました。支援を受けたチャイルドはのべ884名にものぼります。

現地では、教育、保健・栄養、子どもの権利啓発、防災などの分野で活動を行ってきました。中でも、教育は支援活動の中心であり、子どもたちへ学用品の支給を行ったほか、教育の大切さを理解してもらうことで、2014年～2024年の高校卒業率が99%となるなど、大きな成果をあげることができました。



子どもと保護者の対話セッションの様子

保健・栄養の分野では、健康診断、医療へのアクセス支援、薬やビタミン剤の支給などを行いました。また、現地の行政などと連携して、十代の妊娠、違法ドラッグ、子どもの権利などに関する啓発活動も行いました。子どもと大人が対等に意見交換する場も提供し、子どもと保護者がともに、子どもの権利について知識を身につけることができました。さらに、台風などの災害に備えるための防災計画づくりや緊急持ち出しバッグ支援なども行っています。

こうした支援を受けて、未来を切り開いていった一人が、現在小学校の先生として働くライアンです。

貧しい家庭に生まれたライアン。子どもの頃から持病をもっていて、学校を休まざるを得ないこともしばしばあったといいます。家族は日々の食事などをまかなうだけでなく、

ライアンの健康を維持するためにもお金がかかり、厳しい生活を強いられていました。

スポンサーシップ・プログラムによる支援を10年間にわたって受けたライアンは、支援によって健康状態も改善し、もともと内気だった性格も徐々に積極的に。無事に高校まで卒業したあと、**ライアンと小学校の子どもたち**は、教育学を学び、教員採用試験にも見事合格。今では、先生として立派に働きながら、2人の兄弟の勉強のサポートも行っています。



皆さまのご支援によって、ライアンのように、多くの子どもたちが未来を切り開いていくことができました。現在は、保護者による協同組合も運営され、生活資金の貸付、食品加工技術の研修を行うほか、子どもを暴力・搾取から守るための取り組みにも力を入れています。今後も、こうした組織を中心に、地域が自立的に家族や子どもたちへの支援を進めていきます。



協同組合での会議の様子

ネパールの女の子の教育と尊厳を守る

～学用品と性教育を届けるプロジェクト～

クラウドファンディングに挑戦中!

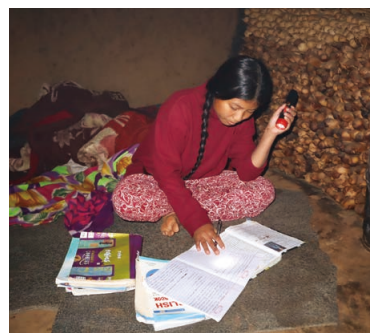
支援地域の一つであるネパールは、女の子の教育が軽視される傾向にあり、児童婚や早期妊娠も大きな課題となっています。女の子の児童婚の割合は実に33%。食事作り、家畜の世話などの家事手伝いの割合も、女の子が男の子の2倍以上です。



このように、ネパールの女の子たちは、児童婚や家事手伝いなどにより、教育の機会を失っていることが明らかです。

こうした課題を解決するため、本プロジェクトでは、継続的に学校に通うための学用品の支援、リプロダクティブ・ヘルス\*についての研修、という二つの支援を届けます。

具体的には、ペンやノートなどの学用品に加え、太陽光で繰り返し充電できるライトも支給します。日中は家事手伝いに追われている女の子も、ライトがあれば、日が沈んだ後に学習の時間を確保できます。また、研修では生理をはじめ、子どもの権利、児童婚などについても取り扱います。



ご寄付は「ForGood」にて受け付けています。ネパールの女の子たちへ、学用品と性教育を届けるために、どうか皆さまのお力をお貸しください。

★詳しくは、こちらをご覧ください→

\*性や妊娠・出産など生殖に関わるすべてにおいて、病気がなく、身体的・精神的・社会的に良好な状態なこと



みなさん、はじめまして!

## 東京事務所の新入職員をご紹介します!

- ① 趣味・特技
- ② これまでに行ってよかったところ
- ③ 一言

総務経理部  
経理担当



くすのき ちえか  
楠 千絵夏

- ① バスケットボール観戦、ハンドベル演奏
- ② 米国アラスカ州。夏は野生動物・鯨ウォッチング、冬はスキー等、雄大な自然に触れる楽しみがたくさん。
- ③ 入社以来、支援者さまへの敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。皆さまの温かいご支援を、陰ながら支える者として精一杯つとめてまいります。

コミュニケーション・マーケティング部  
寄付金手続き担当



にしかわけいこ  
西川 恵子

- ① 国内旅行。宮崎県に行けば全国制覇達成です。/自分の後ろで引くキャリーケースを、後ろを見ずぶつけない新幹線や飛行機の通路を通れます。
- ② 沖縄。誰もいない朝カフェで、ポーッとただ風や生き物の声に浸る時間が非日常で贅沢でした。
- ③ 寄付金手続きを正確に行い、支援のあり方を模索し続けたいです。

コミュニケーション・マーケティング部  
ファンドレイジング担当



たての みなみ  
舘野 みなみ

- ① ミュージカル鑑賞  
特技:茶色いおかずを作ること。
- ② どの地域も魅力がありますが、地元の方と交流し、地域の暮らしに触れると「良いところだな」と感じます。
- ③ 大学の頃、国際協力を学んでいました。チャイルド・ファンドの一員として働けることを嬉しく思います。よろしくお願いたします!

国内支援  
事業担当



しまうちらん  
島内 蘭

- ① 公園めぐり
- ② 子どものころ、タスマニアのマリア島で動物の足音を聞きドキドキしながら寝袋で過ごしたのが印象に残っています。
- ③ 杉並区で生まれ育った外国にルーツをもつ者として「学びのフレンドリースペース」に関われることを嬉しく思っております。子どもたちから学ぶことを忘れずにいたいです。

お知らせ

## チャイルド・ファンド・ジャパンは50周年を迎えます

チャイルド・ファンド・ジャパンは2025年をもちまして、国際協力活動を始めて50年を迎える運びとなりました。1975年、当時厳しい貧困状況であったフィリピンの子どもたち67名への支援から始まり、現在ではネパール、スリランカと地域を広げ、約4,500人の子どもたち(チャイルド)を支援しています。ひとえに皆さまの温かいご支援のお陰と、職員一同深く感謝いたします。

50周年を記念し、特設サイトの開設や記念誌、動画などの制作を予定し、鋭意準備を進めています。皆さまにご参加いただける記念イベントも予定していますので、ぜひ楽しみにお待ちください!



お知らせ

## 領収書の発送が完了しました

2024年にいただいたご寄付の領収書の発送が完了いたしました。チャイルド・ファンド・ジャパンは、「認定NPO法人」に認定されており、ご支援くださる皆さまには、所得税、法人税、相続税などの税制上の優遇措置を受けていただくことが可能です。特に個人の方がチャイルド・ファンド・ジャパンに寄付をした場合、最大で寄付金額の約40%を、所得税から控除できます。一般的に、税額控除方式を選択されると所得税控除方式より大きな減税効果が見込まれます。

詳しくは、「寄付金控除について」のページをご覧ください。



チャイルド・ファンド・ジャパン 寄付金控除

検索

<https://www.childfund.or.jp/support/deduct.html>

お知らせ

## ご自宅の物品が寄付になります!

ご自宅に、書き損じたハガキや未使用の切手、古本、DVD、アクセサリなどはありませんか。チャイルド・ファンド・ジャパンでは、身近な物品の寄付を受け付けています。おうちのGoodsが世界のGoodに!物品寄付で途上国の子どもたちを支えることができます。



### 書き損じハガキ(年賀状、官製はがき)、未使用の切手

➡ 「チャイルド・ファンド・ジャパンの事務所」へお送りください。



〒167-0041

東京都杉並区善福寺2-17-5

チャイルド・ファンド・ジャパン ハガキ係

### 古本、DVD、CDアルバム、ゲーム

➡ 「チャリボン」へお送りください。



<https://www.childfund.or.jp/support/usedbook>

charibon



### アクセサリなどの物品

➡ 「お宝エイド」へお送りください。



<https://www.childfund.or.jp/support/otakaraaid>

家に眠る「お宝」でNPOに寄付できるプログラム  
お宝エイド®



ChildFund Japan

Vision Mission

チャイルド・ファンド・ジャパンはここに掲げるビジョン(目標)、ミッション(使命)に基づいて活動します。

ビジョン(目標)

すべての子どもに開かれた未来を約束する国際社会の形成

ミッション(使命)

生かし生かされる国際協力を通じて子どもの権利を守る

チャイルド・ファンド・アライアンス

ChildFund Alliance

人種、宗教、性別、国籍を問わず世界の子どもたちに、効果的な支援活動をするためのネットワークで、子どもたちに向けたスポンサーシップ・プログラムを行う11団体から構成されています。チャイルド・ファンド・ジャパンは2005年4月に加盟しました。

チャイルド・ファンド・ジャパンだより **スマイルズ SMILES**

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン  
〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5  
理事長/高橋潤 事務局長/武田勝彦  
TEL. 03-3399-8123 FAX. 03-3399-0730  
E-mail: inquiry@childfund.or.jp  
URL: <https://www.childfund.or.jp/>

2025年2月発行

(デザイン)  
モスデザイン研究所  
(印刷)  
吉原印刷株式会社